

作物の種類		アマランサス		519	1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	出穂期	区	観察	年 月 日										供試株数の50%が主茎の頂点に1cm以上出穂した時期
2	開花期	区	観察	年 月 日										供試株数の40-50%が、開花始(葯の抽出を確認)に達した時期
3	成熟期	区	観察	年 月 日										供試株数の50%が、主茎の花序の中心部を握って手についた種子が指で押しでもつぶれなくなった時期
4	茎の色	区	観察				緑	黄	桃	赤	紫			茎の主な色。開花期に調査する。
5	葉の色	区	観察		淡緑		緑		濃緑		赤			葉の主な色。開花期に調査する。
6	花序の色	区	観察				黄	緑	桃	赤	紫	茶		花序の主な色。開花期に調査する。
7	花序の型	区	観察		房状								玉状	花房の花軸への着生容姿。開花期に調査する。
8	花序の形状	区	観察		ひも		長側枝		円錐		その他			成熟期に調査する。
9	花序の長さ	10個体	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										主茎の花序の止葉から先端までの長さを測定する。成熟期に調査する。
10	草丈	10個体	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										地際部から花序の先端までの高さ。成熟期に調査する。
11	種子の色	区	観察		白		黄		桃		茶		黒	種子の色。成熟期に調査する。

作物の種類		アマランサス		519		1次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	子葉の赤色着色の程度	区	観察		無		弱		中		強			発芽後3～6日の間に観察する
2	胚軸の赤色着色の程度	区	観察		無		弱		中		強			発芽後3～6日の間に観察する
3	野菜としての収穫期	区	観察	年 月 日									野菜として収穫期に達した日。草丈25cmくらいになった日	
4	若葉の長さ	10個体	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									若葉の最大葉の長さ。本葉が6～8枚出葉したとき測定する。	
5	若葉の幅	10個体	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									若葉の最大葉の幅。本葉が6～8枚出葉したとき測定する。	
6	若葉の長さ／幅	10個体	測定				小		中		大			若葉の長さに対する幅の比。本葉が6～8枚出葉したとき測定する。
7	若葉の最大幅の位置	区	観察				中央部寄り		基部寄り		かなり基部寄り			若葉の最大幅の位置。本葉が6～8枚出葉したとき観察する。
8	若葉の脈の顕著さ	区	観察				弱		中		強			若葉の脈の顕著さを観察。本葉が6～8枚出葉したとき。
9	若葉の表面の主な色	区	観察		淡緑		緑		濃緑		赤		紫	若葉の表面の主な色を観察。本葉が6～8枚出葉したとき。
10	若葉の表面の二次色の分布	区	観察				基部の着色		中斑		周辺部と脈の着色			若葉の表面の二次色の分布状態を観察。本葉が6～8枚出葉したとき。
11	若葉の裏面の色	区	観察				緑		赤		紫			若葉の裏面の主な色を観察。本葉が6～8枚出葉したとき。
12	成葉の周縁の形	区	観察		全縁								波状	出穂前の充分に展開した葉の周縁の形
13	茎の筋の色	区	観察		なし		淡緑		赤		紫			茎の筋の色。開花期に観察する。
14	葉柄の赤色着色の程度	区	観察		無		弱		中		強			葉柄のアントシアニン着色の程度。開花期に観察する。
15	葉身の斑の有無	区	観察		無								有	葉身の斑の有無。開花期に観察する。

作物の種類		アマランサス		519		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
16	葉身の斑の色	区	観察		緑		銀		赤		紫			葉身の斑の色。開花期に観察する。	
17	葉身の斑の分布	区	観察		キメラ	葉脈	中央	葉縁	V字型	全体	不定形			葉身の色素着色部位の分布。開花期に調査する。	
18	花序の曲がりの強さ	区	観察		立つ		少し曲がる		曲がる		強く曲がる			花序の下部方向への反りの程度。開花期に調査する。	
19	胞果に対するほう葉の長さ	区	観察				短		同等		長			胞果に対するほう葉の長さ。成熟期に調査する。	
20	分枝数	10個体	測定	本/個体（小数第2位を四捨五入）										主茎から生じた分枝の数。分枝とは花序と葉が着生した長さ30cm以上の枝。成熟期に測定する。	
21	茎の太さ	10個体	測定	mm（小数第2位を四捨五入）										茎の地際の太さを測定する。	
22	種子の形	区	観察		楕円体								円板状	収穫期の乾いた種子を観察する。	
23	モチ・ウルチ性	10粒	測定		ウルチ								モチ	ヨード反応によってモチ・ウルチ性を判別する。	
24	千粒重	区	測定	g（小数第2位を四捨五入）										完熟粒100粒を3回測定して算出する。	

作物の種類		アマランサス		519		2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	耐倒伏性	区	観察				弱		中		強			成熟期における倒伏の程度。	
2	耐虫性	区	観察				弱		中		強			害虫に対する抵抗性。（分かれば害虫名を記載する）	
3	モザイク病抵抗性	区	観察				弱		中		強			葉のモザイク症状発生程度。	
4	立枯れ病抵抗性	区	観察				弱		中		強			生育初期における罹病株の発生程度。	
5	茎腐病抵抗性	区	観察				弱		中		強			出穂期までの罹病株の発生程度。	

作物の種類		アマランサス		519	2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	耐寒性（葉菜として）	区	観察				弱		中		強			野菜として収穫する場合、低温下での発芽性や生育程度で判断する。
2	耐暑性（葉菜として）	区	観察				弱		中		強			野菜として収穫する場合、高温下での生育程度で判断する。
3	穂発芽性	区	観察				易		中		難			穂発芽の発生の程度によって判定する。

作物の種類		アマランサス		519	3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	子実重	区	測定	kg/a (小数第2位を四捨五入)									単位面積あたりの屑粒を除いた風乾子実重	
2	種子のタイプ	区	観察		硬質								粉質	徹照診断法による。箱の中に光源を設置し硝子蓋を取り付け種子を硝子蓋に載せ、種子が光を透過すれば硬質、透過しなければ粉質と評価する。

作物の種類		アマランサス		519	3次選択項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8			9
1	GBSSI遺伝子型		測定		機能型									非機能型	ジェノタイピングにより判定
2	アミロース含量		測定	% (小数第2位を四捨五入)									オートアナライザー等により測定		
3	アスコルビン酸含量		測定	mg/100g f.w. (小数第2位を四捨五入)									RQフレックスや高速液体クロマトグラフィー等により測定		
4	シュウ酸含量		測定	mg/g d.w. (小数第2位を四捨五入)									高速液体クロマトグラフィー等により測定		
5	ルチン含量		測定	mg/g d.w. (小数第2位を四捨五入)									高速液体クロマトグラフィー等により測定		
*6	スクロース	区	測定	mg/g d.w. (小数第2位を四捨五入)									高速液体クロマトグラフィー等により測定		
*7	グルコース	区	測定	mg/g d.w. (小数第2位を四捨五入)									高速液体クロマトグラフィー等により測定		
*8	フルクトース	区	測定	mg/g d.w. (小数第2位を四捨五入)									高速液体クロマトグラフィー等により測定		
*9	総ポリフェノール	区	測定	mg/g d.w. (小数第2位を四捨五入)									フォリンチオカルト法等により測定		
*10	抗酸化活性値	区	測定	μ mol Trolox等量/g (小数第2位を四捨五入)									DPPHラジカル消去活性法等により測定		

* ジーンバンク事業の特性評価マニュアルに掲載されていない項目